

令和4年度 東浜小学校の教育活動

【教育目標】

ふるさとを誇りに思い、感性豊かにたくましく
生きる子どもの育成

【目指す子ども像】

明るく元気に学ぶ子ども

やさしく（明るく思いやりのある子ども）
かしこく（自分で考え進んで学ぶ子ども）
たくましく（粘り強く体力づくりを頑張る子ども）

【具現を目指す教師像】

子どもと一緒に学び続ける教師

- いつも明るく子どもに寄り添う教師
- 分かる授業を実践し、自らを高める教師
- 地域と共にある教師

【具現を可能にする学校像】

日常を大切に、笑顔と花があふれる学校

- 子どもたちの笑顔と活気に満ちた学校
- 安全・安心で心の居場所のある学校
- 地域と共に歩む学校

【重点施策】

1 学校づくり

(1) 感性豊かでたくましい心を育む

- ① 志教育及びふるさと教育の充実
- ② MLA の取組の充実
- ③ 教育環境の整備充実

(2) 地域と共に歩む（家庭と地域との協働）

- ① 家庭や地域の方々との交流学習推進
- ② 地域の特色を生かした体験活動推進

2 授業改善 = 「確かな学力」の育成

- (1) 徳・知・体の調和のとれた子どもの育成
- (2) 学ぶ土台づくりの活性化推進

かきむき体験



小・中合同文化祭



<特色ある取組>

1 学校づくり

(1) 感性豊かでたくましい心を育む

- ① 志教育及びふるさと教育の充実

総合的な学習の時間を中心とした、全教育活動の中での展開指導

- ・社会的自立に必要な基礎力を培う探究的な学習活動の推進
- ・自らの生き方や進路に関する夢と希望を育む志教育の推進
- ・郷土愛を目覚めさせる探究的な学習活動の推進
- ・地域との協働を大切にした体験活動の推進

- ② MLA の取組の充実

全校児童2名という小規模校の特性を生かし、「相手の気持ちを思いやる場」「互いに支え合い助け合う場」の活用と充実

- ・SEL、協同学習、ピア・サポート、PBIS を活用した教育活動の推進
- ・互いを認め合い高め合える、安心感のある心の居場所づくりの推進

- ③ 教育環境の整備充実

- ・校庭、学校花壇（タイヤ花壇）、学級園の充実（花と緑のある学校）
- ・音楽（朝の会、音楽集会）活動の充実

(2) 地域と共に歩む = （家庭と地域との協働）

保護者と地域民の熱い学校支援、そして牡鹿半島の自然美と恵まれた資源を生かした活動

- ① 家庭や地域の方々との交流学習
- ② 地域の特色を生かした体験活動
- ③ 地域の人材や資源の積極的な活用
- ④ 学校運営・教育活動に関する積極的な情報発信
- ⑤ 地域の方々の来校機会の拡充

獅子風流



2 授業改善 = 「確かな学力」の育成

(1) 「徳・知・体」3つの調和のとれた子供の育成をめざす

基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見つけ学び考え、他者との協働を通して深い学びができる子供を育てる指導を実践する。

- ① へき地小規模校の特性を生かした教育活動の推進
- ② 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の育成

(2) 「学ぶ土台づくり」の活性化推進をめざす

生涯にわたる人格形成の基礎が培われる小学校教育時に、子どもたちが、豊かな心情や学ぼうとする意欲、健全な生活を送る態度が身に付けられる活動を推進する。

- ① 小・中学校との交流学習の推進
- ② 防災・減災教育の推進
- ③ 他団体との協働

【学校づくりの具体取組】

1 育みたい子どもの能力

ふるさと東浜の良さの探究的な学習を通して、様々な人と関わりを持たせ、(1)「課題を見つけ、追及する能力」、(2)「学び方、教え方、表現する能力」、(3)「コミュニケーション能力」を培い、将来の社会人としてのより良い生き方を主体的に求めることができる「生きる力」を育む。

2 手立て

「協同学習」、「SEL」、「ピア・サポート」、「PBIS」等を活用

3 地域と協働した体験学習内容

(1) 漁業体験学習

「かき」育成の探究（殻挿し体験、養殖観察、かきの殻剥体験）や「かき」料理作りを、保護者、地域の方、講師と協働で実施する。

(2) 読み聞かせ・朗読発表会

石巻専修大図書館との協働、テイラー文庫活用、保護者と協働で、全校朗読発表会を実施する。

(3) 地域の方々や祖父母との交流活動（ふれあい交流会）

(4) 地域の伝統文化に自ら探究的にかかわる体験学習「獅子風流」
小・中合同運動会や小・中合同文化祭での発表、石巻かき祭りでの発表、小・中合同獅子風流地区回りをを行う。

(5) 将来の自分の生き方を考える活動

※みやぎの先人集活用
学校周辺（遺跡や神社等）や牡鹿半島（慶長遣欧使節）の探究活動を行う。



獅子風流地区回り

【授業改善（確かな学力の育成）の具体取組】

1 育みたい子どもの能力

へき地小規模校の特性を生かし、個に応じた指導を最大限活かしながら「プログラミング的思考」「主体的・対話的な深い学び力」「学ぶ土台力」を身に付けさせ、生涯学習の基盤となる力を育む。

2 手立て

協同学習の取組の活かした校内研究、小中交流学習、他団体との協働

3 内容

(1) へき地小規模校の特性を生かした教育活動の推進

- 学び合いと個別最適な指導の実現
- 「書く」「聴く」ことを通した活動による自己の振り返りと考えの深化

(2) 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の育成

- 主体的な学びを追求した指導法の工夫
- 対話的な学びを求めた能力の育成
- 深い学びを追求した学習の推進

(3) 小・中学校との交流学習の推進

小・中合同運動会、小・中合同文化祭、獅子風流地区回り、異校種間交流研修・情報交換会

(4) 防災・減災教育の推進

(5) 他団体との協働

出前講座（石巻専修大学等）、自然教室（東北大学大学院農学研究科）